

令和4年度 クリーニング師試験（学科試験）

（令和5年2月9日実施）

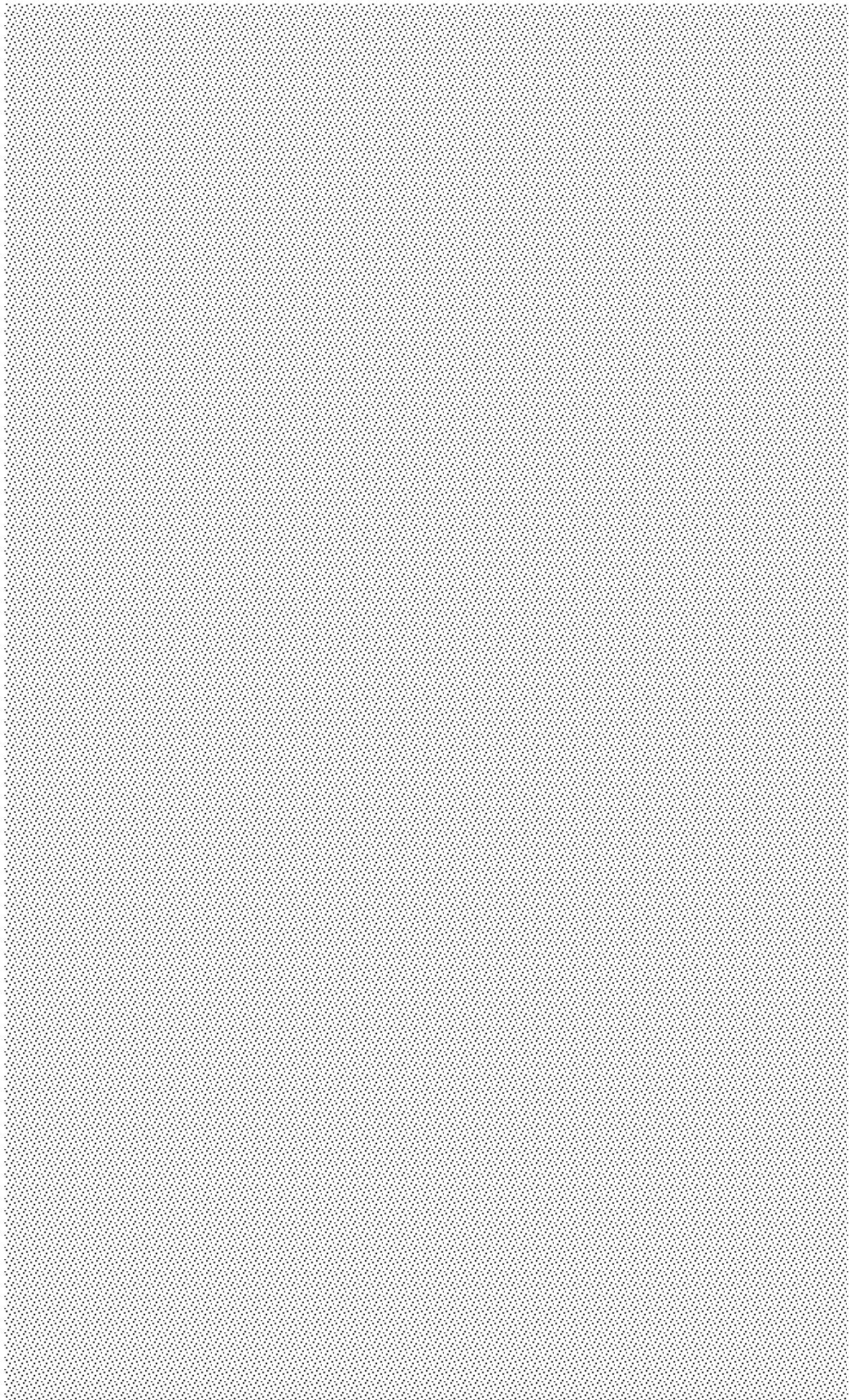
試験時間：午前9時40分～午前11時00分(80分)

【注意事項】

- ◎ 指示があるまで開いてはいけません。
- ◎ 解答用紙には、氏名・受験番号を記入してください。
- ◎ 解答は、問題の指示に従い、解答用紙に記入してください。
- ◎ 問題の内容についての質問には、お答えできません。

受験番号

福 井 県



1 衛生法規に関する知識

問1 次の文は、クリーニング業法の目的、定義に関する記述である。文中の空欄①～⑥に入る語句を、下の語群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、(①) 等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその(②) を公共の福祉に適合させるとともに、(③) の利益の擁護を図ることを目的とする。

(2) この法律で「クリーニング業」とは、溶剤又は(④) を使用して、衣類その他の繊維製品又は(⑤) を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。

(3) この法律で「クリーニング師」とは、第6条に規定する(⑥) をいう。

(語群)

ア：環境衛生	イ：経営	ウ：営業者	エ：洗剤	オ：木綿製品
カ：試験に合格した者	キ：社会福祉	ク：業界	ケ：利用者	コ：柔軟剤
サ：公衆衛生	シ：皮革製品	ス：社会	セ：国民	ソ：漂白剤
タ：免許を受けた者				

問2 次の文は、クリーニング業法に基づく営業者の衛生措置に関する記述である。文中の空欄①～⑥に入る語句を、下の語群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 洗濯物の洗濯をするクリーニング所に、業務用の機械として、洗濯機および(①) をそれぞれ少なくとも(②) 台備えること。

(2) 洗濯物を洗濯または(③) を終わったものと終わらないものに区分しておくこと。

(3) 洗濯物をその(④) に応じ区分して処理すること。

(4) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとして(⑤) で指定する洗濯物は、他の洗濯物と区分しておき、これを洗濯するときは、その前に(⑥) すること。

(語群)

ア：仕上げ	イ：厚生労働省令	ウ：2	エ：種類	オ：乾燥機
カ：1	キ：脱水機	ク：漂白	ケ：滅菌	コ：用途
サ：条例	シ：3	ス：素材	セ：届出	ソ：消毒
タ：洗浄				

問3 次の(1)～(4)について、クリーニング業法に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所を開設しようとする者は、クリーニング所の位置、構造設備および従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- (2) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取および引渡しをすることを営業としようとする者は、営業方法、従事者数その他必要な事項を営業開始後に都道府県知事に届け出なければならない。
- (3) 営業者は、クリーニング所の従事者数に変更があったときは、1か月以内に都道府県知事に届け出なければならない。
- (4) 営業者は、クリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備がクリーニング業法の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。

問4 次の(1)～(3)の業態について、クリーニング業に該当するものには○印を、該当しないものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 衣服修理業
- (2) コインランドリー業
- (3) 貸おしぼり業

問5 次の(1)～(3)のうち、都道府県知事等のクリーニング所への立入検査に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 立入検査を実際に行うのは、都道府県知事からその権限を委任されたその職員であり、この職権を行う者は、環境衛生指導員という。
- (2) 都道府県知事は、必要があると認めるときは、当該職員に、クリーニング所または業務用の車両に立ち入り、クリーニング業法で規定する衛生措置の実施状況を検査させることができる。
- (3) 立入検査を行う職員は、その身分を示す証票を携帯するが、この権限は、犯罪捜査のために認められたものではない。

問6 クリーニング業法および同法施行規則に基づき、苦情の申出先として店頭に掲示する内容として、誤っているものを次の語群から2つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(語群)

ア：クリーニング所の名称	イ：クリーニング所の所在地
ウ：クリーニング所の営業者の氏名	エ：クリーニング所の電話番号
オ：クリーニング師の氏名	

問7 次の(1)～(3)のうち、クリーニング師の免許証に関する記述として、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師の免許を受けようとする者は、本籍、住所、氏名及び生年月日を書いた申請書に戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍の記載のある住民票の写し及び業務を行おうとする場所を記載した書類を添えて、居住地の都道府県知事に申請しなければならない。
- (2) クリーニング師が免許証を紛失したときは、10日以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- (3) クリーニング師がクリーニング業に関する罪を犯し、免許の取消処分を受けた者は、5日以内に免許証を、免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。

問8 次の(1)～(3)のうち、クリーニング師の研修および業務従事者の講習に関する記述として、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後3年以内に都道府県知事が指定した研修を受けなければならない。
- (2) 洗濯物の受取および引渡しのみを行うクリーニング所であっても、営業者は、その従事者の数に5分の1を乗じて得た数の者を選び、その者に対して、クリーニング業法に規定する講習を受けさせなければならない。
- (3) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、この研修を受けた後は、5年を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。

問9 次の文は、クリーニング師の処分に関する記述である。ア～エのうち、文中の空欄①～③に入る語句の組み合わせとして正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(①) は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して (②) 以上の刑に処せられたときは、その免許を (③) ことが出来る。

	①	②	③
ア	厚生労働大臣	懲役	取り消す
イ	都道府県知事	懲役	期間を定めて停止する
ウ	厚生労働大臣	罰金	期間を定めて停止する
エ	都道府県知事	罰金	取り消す

2 公衆衛生に関する知識

問1 次の文は、ウインスローの公衆衛生の定義および、WHO（世界保健機関）憲章の健康の定義に関する記述である。文中の空欄①～⑧に入る語句を、下の語群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

公衆衛生とは、(①) の組織的な努力を通じて、(②) を予防し、寿命を延長し、(③) および (④) 健康の能率の増進を図る科学であり技術である。

健康とは(③)、(④) および (⑤) に完全に良好な状態であって、単に(②) または虚弱でないというだけではない。到達しうる最高基準の(⑥) を享受することは、人種、宗教、政治的信念、(⑦) もしくは(⑤) 状態の如何を問わず、すべての人間の基本的(⑧) である。

(語群)

ア：疾病	イ：社会福祉	ウ：精神的	エ：利益	オ：健康水準
カ：目標	キ：共同社会	ク：災害	ケ：肉体的	コ：組織的
サ：社会的	シ：医療水準	ス：権利	セ：管理社会	ソ：経済的

問2 次の(1)～(4)について、クリーニング所における感染症対策の記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 特に感染が流行している時期には、出勤前に健康チェックを行い、発熱等の症状がある場合は、出勤せずに報告することが重要である。
- (2) ブドウ球菌などは乾燥表面で約1年程度は生存可能であるが、多くの微生物は湿潤環境を好むため、洗濯物は乾燥状態で保管すべきである。
- (3) 新型コロナウイルスの主な感染経路は、接触感染や飛沫感染とされており、マスクの着用、十分な換気、密を避けることが重要である。
- (4) 結核や感染性の皮膚疾患にかかった従事者が業務に従事する場合は、保健所に届け出なければならない。

問3 次の(1)～(3)のうち、ノロウイルスに係る吐物やふん便等の汚物が布団などのリネン類に付着した場合の消毒方法に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記載しなさい。

- (1) リネン類は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどでできるだけ汚物を取り除き、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いする。
- (2) 下洗したリネン類の消毒は、85℃・1分間以上または80℃・10分間以上の熱水洗濯が適している。
- (3) 熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には、次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効であり、その濃度は200ppm以下になるようにする。

問4 次の(1)～(4)について、クリーニング所における衛生管理要領に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師は、公衆衛生および洗濯処理に関する専門的知識等を有する者であり、クリーニング所の衛生管理を行う上で実質的な責任者となるものである。
- (2) 洗剤、有機溶剤、しみ抜き薬剤および消毒剤等は、それぞれ分類して表示し、必ず施錠された保管庫で保管しなければならない。
- (3) 施設内は、採光・照明を十分にすること。特に、受渡し場、しみ抜き場及び仕上場の作業面の照度は、300Lux以下であることが望ましい。
- (4) 洗濯機、脱水機等の機械、作業台、運搬・集配容器等の洗濯物が接触する部分は、毎日業務終了後に洗浄または清掃し、仕上げの終わった洗濯物の格納設備または容器は、少なくとも1か月に1回以上清掃を行い、常に清潔に保つこと。

問5 次の(1)～(3)のうち、標準営業約款制度(Sマーク制度)に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) Sマークの表示がされている店は、技術水準や事故の場合の補償制度を完備した旨の登録を行っている。
- (2) 全国生活衛生営業指導センターが厚生労働大臣の認可を受けて、クリーニング業を含む10業種について設定されている。
- (3) Sマークは、Sanitation(清潔)、Standard(安心)、Safety(安全)の頭文字をとったものである。

問6 次の(1)～(5)について、環境や従業員を守るための規制に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 大気汚染防止法に基づき、テトラクロロエチレンによるドライクリーニング機(密閉式のものを除く)について、処理能力が1回あたり50kg以上の施設に指定物質抑制基準が設定されている。
- (2) クリーニング所は、水質汚濁防止法の特定施設として自治体への届出および排水基準の遵守、測定と記録、事故時における届出などの義務がある。
- (3) マニフェスト(産業廃棄物管理票)を交付したすべての排出事業者は3年に1度、交付等の状況を報告書にまとめて都道府県知事に提出しなければならない。
- (4) クリーニング洗浄剤として用いられるHFC-365mfc(ソルカン)は、温室効果を有する代替フロン的一种であり、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガスに指定されている。
- (5) テトラクロロエチレンは、人体に発がんのおそれがあるため、特定化学物質障害防止規則により、特別有機溶剤として規制されており、テトラクロロエチレンを使用したドライクリーニングの作業記録を20年間保存しなければならない。

問7 次の(1)～(4)について、クリーニング業における環境保護に関する取組みに関する記述として、正しいものを2つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国連の「持続可能な開発サミット」で採択された取組みであり、世界が2030年までに達成すべき27の目標が公表されている。
- (2) SDGsが掲げる目標について、目標が未達の場合による罰則はないが、我々社会や1人1人がやれることを、できる範囲で取組むことが求められる。
- (3) 令和4年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法では、クリーニング業者は、プラスチックの3R（Reduce、Reuse、Recycle）のほか、Renewable（再生プラスチックやバイオマスプラスチックの利用）に関する取組みが求められる。
- (4) 特定プラスチック使用製品（商品の販売又は役務の提供に付随して消費者に無償で提供される主としてプラスチック製のもの）には12製品が指定されており、クリーニング業では、衣類用ハンガーのみが対象製品となっている。

3 洗たく物の処理に関する知識

問1 次の(1)～(10)の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) レーヨン繊維は植物繊維である。
- (2) 衣料品の素材として幅広く使われている天然繊維で、吸湿・吸水性、保温性、耐熱性に優れた繊維は綿である。
- (3) 羊毛製品は、着用とクリーニングを繰り返すことで素材が硬化しやすくなる。
- (4) 強撚糸織物は、強い蒸気をあてて仕上げを行う。
- (5) ニットはドレープ性があるため、ワイシャツやスーツなどには用いられることが少ない。
- (6) 洗剤においてpHが3.0未満のものを酸性洗剤という。
- (7) 毛皮製品のクリーニングはランドリーで行われる。
- (8) ランドリーにおいて、色物の分類は淡色と濃色に分ける。
- (9) ランドリーにおいて、水深は洗濯物が水を含んだ状態で測る。
- (10) 織物や編物の表面に長いパイルを持たせた天然の毛皮に似せたものを人工起毛という。

問2 次の(1)～(10)の文中の()に該当する語句を、下の語群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 国内で使用されているドライクリーニング溶剤は、石油系溶剤の他に()がある。
- (2) 繊維製品の染色工程の大きな流れは、精錬、()、染色、後処理である。
- (3) ランドリーで主に使用される漂白剤は、過炭酸ナトリウムと()である。
- (4) 強度、弾性率が高いが、日光で黄変するなど経時変化に弱い繊維は()である。
- (5) シミ抜きに用いるアンモニア、過酸化水素、()は危険性のある薬品であり、毒物または劇物に該当する。
- (6) 繊維製品の外観加工において、布表面に折り目を付ける加工を()加工という。
- (7) プリント加工された製品は摩擦に強いので、もみ洗いをして()を行う。
- (8) ポリエステルは化学繊維の中で最も用いられ、強度、耐熱性、耐光性、()に優れている。
- (9) ドライクリーニングにおいて、ドライクリーニング溶剤は汚れのうち動植物油・()を分解する。
- (10) テトラクロロエチレンは無色の液体であり、エーテル様の臭気があり、()性である。

(語群)

ア：鉱物油類	イ：汗	ウ：漂白	エ：テトラヒドロフラン
オ：泥や砂	カ：ドライ機	キ：水溶性	ク：酸性
ケ：シャンプー洗い	コ：速乾性	サ：フッ化水素	シ：塩化ナトリウム
ス：不燃	セ：可燃	ソ：エタノール	タ：テトラクロロエチレン
チ：サンドブラスト	ツ：次亜塩素酸ナトリウム	テ：レーヨン	ト：ナイロン
ナ：起毛	ニ：プリーツ	ヌ：タンブル乾燥	ネ：水洗






問3 次の(1)～(10)の文中の()に該当する数値を、下の語群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニングの適切な相対湿度は、約()%である。
- (2) 綿素材製品のアイロンによる標準仕上げ温度は、()～200℃である。
- (3) アクリルのタンブル乾燥温度は、()℃以下にすることが望ましい。
- (4) ランドリー用水の適正pH値は、5.8～()である。
- (5) 危険物第2石油類の指定数量は、()リットルである。
- (6) 漂白剤としての過炭酸ナトリウムの標準使用量は、1リットル当たり()g～1gとする。
- (7) 漂白剤としての過炭酸ナトリウムは、()℃以上で効果を発揮する。穏やかに分解し、生地を傷めることが少ない。
- (8) ランドリー用水に鉄分が存在すると、生地の黄褐色の原因となるので、鉄分は()ppm以下が望ましい。
- (9) ランドリー用水のカルシウムやマグネシウムなどの硬度成分は()ppm以下が望ましい。
- (10) ドライクリーニング機を取扱う労働者に対し、一般的な健康診断に加え、雇入れなどの際と、()カ月以内ごとに1回、代謝物の検査など、特別な項目についての健康診断を行う。

(語群)

ア：0.1	イ：0.5	ウ：0.7	エ：3	オ：6	カ：5.8	キ：8.6
ク：8.8	ケ：15	コ：30	サ：35	シ：40	ス：60	セ：75
ソ：90	タ：120	チ：160	ツ：180	テ：1,000	ト：2,000	

問4 次の(1)～(5)は、繊維製品の取扱いに関する表示記号である。それぞれの記号の説明として正しい方を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(1)		① 洗濯処理はできない。 ② ドライクリーニング処理はできない。
(2)		① ぬれ平干し乾燥がよい。 ② 日陰での平干し乾燥がよい。
(3)		① 洗濯処理後のタンブル乾燥ができる(排気気温の上限は最高60℃)。 ② 洗濯処理後のタンブル乾燥ができる(排気気温の上限は最高80℃)。
(4)		① 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。 ② 塩素系漂白剤による漂白処理ができるが、酸素系漂白剤による漂白処理はできない。
(5)		① 底面温度150℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。 ② 底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。

問5 次の①～⑤を、シミ抜きの処理の順に並べかえなさい。

- ①水性処理 ②油性処理 ③還元漂白 ④酸化漂白処理 ⑤酵素処理

問6 次の文は、ある繊維加工方法に関する記述である。該当する加工方法を1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

布に接着剤を塗った後に、静電気を帯電させて、布面に細かく短い0.1～5.0mm程度の繊維の毛羽を、振動や静電気により垂直に植え付ける加工

- ①ピーチ加工 ②フロック加工 ③起毛加工 ④ワッシャー加工

問7 次の(1)～(4)のうち、ボタンの原料の特徴に関する記述として、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(1) ABSボタン (ABS樹脂)

硬くて割れにくいと特に丈夫ではない。軽い。メッキしやすく、塩素漂白や酸素漂白は可能である。機械的な強度は特に問題ない。

(2) アクリルボタン (メタクリル酸樹脂)

透明度がよく、光沢もある。ほとんど先染めで、染色けんろう度は心配ない。染み抜き剤で劣化する場合がある。熱に強く、直接アイロンを当ててもよい。

(3) ポリボタン (ポリエステル樹脂)

パール光沢や天然調で、ワイシャツをはじめ広範囲に使用。比較的丈夫で、衝撃で割れにくい。耐薬品性は弱い方である。

(4) ナイロンボタン (ポリアミド樹脂)

強度があり割れにくく、耐摩耗性がある。耐熱度が高くないので、アイロンは当て布を使用し、直接当てない。

問8 次の(1)～(4)のうち、繊維素材の特徴に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(1) 綿

天然繊維の中で最も多く消費される繊維で、丈夫で、吸湿、吸水性、保温性、耐熱性、耐洗濯性がよい。しかし、洗濯などの摩擦による損傷、収縮、着用によるシワ発生の欠点がある。

(2) ポリエステル

熱セットでプリーツ加工などの熱処理がしやすく、洗たくでの伸び縮みが少ない。また、乾きが早いなど、W&W (ウォッシュ&ウェア) 性がよい性質を持つ素材。耐光性に優れ、長時間露光しても強度低下や黄変が起こらない。

(3) ポリウレタン

ゴムのようによく伸び、ストレッチ織物などに用いられる。ドライクリーニング溶剤にも膨張しにくく、熱、油、薬品、紫外線にも強い。洗たくでの塩素系漂白剤の使用には注意を要する。

(4) アクリル

毛に似た軽くて柔らかい手触りの繊維。耐光性に優れるが、ピリングが出やすいといった欠点があり、熱に弱いため、タンブル乾燥は60℃以下が望ましい。

問9 次の(1)～(4)のうち、特殊クリーニングの説明に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) スエードの仕上げでは、人体プレス機を使い、60～70℃で蒸気を多めにして処理をする。
- (2) 毛皮は、パウダークリーニングを行い、ドライクリーニングは避ける。
- (3) 毛皮を保管する際、温度は10～15℃、湿度45～50%が最適である。
- (4) カーペットのクリーニング方法は、水洗い、シャンプー洗い、ドライクリーニングなどがある。

令和4年度クリーニング師試験 解答用紙

受験番号	氏 名

1 衛生法規に関する知識 (25問)

問 1					
①	②	③	④	⑤	⑥

問 2					
①	②	③	④	⑤	⑥

問 3				問 4		
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)

問 5	問 6	問 7	問 8	問 9

2 公衆衛生に関する知識 (25問)

問 1							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

問 2				問 3	問 4			
(1)	(2)	(3)	(4)		(1)	(2)	(3)	(4)

問 5	問 6					問 7	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		

3 洗たく物の処理に関する知識 (40問)

問 1									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問 2									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問 3									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問 4				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問 5	問 6	問 7	問 8	問 9

令和4年度クリーニング師試験 解答

受験番号	氏名

1 衛生法規に関する知識 (25問)

問1					
①	②	③	④	⑤	⑥
サ	イ	ケ	エ	シ	タ

問2					
①	②	③	④	⑤	⑥
キ	カ	ア	コ	イ	ソ

問3				問4		
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
○	×	×	○	×	×	○

問5	問6	問7	問8	問9	
1	ウ	オ	3	2	エ

2 公衆衛生に関する知識 (25問)

問1							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
キ	ア	ケ (ウ)	ウ (ケ)	サ	オ	ソ	ス

問2				問3	問4			
(1)	(2)	(3)	(4)	3	(1)	(2)	(3)	(4)
○	×	○	×		○	×	×	×

問5	問6					問7	
2	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	2	3
	×	○	×	○	×		

3 洗たく物の処理に関する知識 (40問)

問1									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	×	×	○	○	×	×	○	×

問2									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
タ	ウ	ツ	ト	サ	ニ	ヌ	コ	ア	ス

問3									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
セ	ツ	ス	キ	テ	イ	シ	ア	ソ	オ

問4				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
2	2	1	1	1

問5	問6	問7	問8	問9
2 → 1 → 5 → 4 → 3	2	4	3	1